

令和 8 年 度 学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト（わせがく夢育高等学校【熊谷学習センター】）

目指す学校像	本校の教育スローガン〔自由・個性・夢育〕を基幹にし、令和 8 年度は次のような学校を目指し、本校の特色を明確化していく。 （１）生徒一人ひとり夢、人権及び個性がお互いに十分に尊重され、いつも楽しい雰囲気にあふれる学校。 （２）生徒が卒業までに、自立して生活できるように、人としての基礎基本（各教科の基礎学力・基本的生活習慣・社会的人間性等）を身につける学校。 （３）地域を理解し、地域に貢献し、地域に信頼される学校
--------	--

重 点 目 標	（１）出席率の向上 （２）退学者の減少 （３）資格取得の奨励 （４）進路決定率の向上 （５）部活動の充実 （６）本校（通信制課程）理解の促進 （７）地域交流の促進
---------	---

達成度	A	ほぼ達成（8 割以上）
	B	概ね達成（6 割以上）
	C	変化の兆し（4 割以上）
	D	不十分（4 割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価（ 月 日 現在 ）		
番号	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	出席奨励の連携を積極的に行い、生徒面談・保護者面談を充実させる。	皆勤者を 1 名以上とする			
		長期欠席を未然に防ぐため、必要に応じて家庭訪問を実施し、生徒の通学意欲を向上させる。	生徒状況調査で全日型生徒の長期欠席を 2 0 %未満とする			
2	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	生徒面談・保護者面談を充実し、生徒の学校不適応の行動を見逃さない。	退学者 0 名とする			
		保護者との連携を強化し、常に適切な連絡を家庭と取り合う。	転出者を 0 名とする			
3	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	生徒の学習意欲を高める検定の実施。	受検者数延べ 2 名			
		資格取得のための学習を提供する。	各種検定合格者延べ 1 名			
4	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	卒業率を 9 7 %以上とする。	卒業率 9 7 %以上			
		個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。	進路決定率 8 0 %以上			
5	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	部活動の活性化に努め、生徒に充実感、達成感を持たせる。	全国大会での入賞 1 部以上			
		部活動を通し、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係を深める。	学校評価アンケートで 4 5 %以上の同意			
		部活動、同好会の加入者延べ数を 1 名とする。				
6	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	全教職員が協力して、地域の中学校・高等学校の教職員との連携の強化を図る	訪問担当校（中高）を年 2 回以上すること			
		本校（通信制課程）理解促進のための中学校・高等学校等訪問の強化、訪問中学約 1 2 3 校とする。	訪問中学約 1 2 3 校とする。			
		学校行事・フェア・キャンパス行事等、様々な機会を通じて入学者が来校する機会を多く取り入れ、新入出願許可書の発行を 7 0 枚以上を下限とし、1 0 0 枚以上する。また、2 0 2 6 年 8 月末までに 5 4 枚以上とする。	新入出願許可書発行数 1 0 0 枚以上（2 0 2 6 年 8 月末までに 5 4 枚以上）			
		わせがく夢育生 1 0 0 0 名。	在籍生徒数 2 0 名			
		HP・SNSの充実を図る。各校舎のHP・SNSの更新を週 1 回以上とする。	各校舎のHP・SNSの更新を週 1 回以上			
7	新規開設のため、今年度より熊谷学習センターの目標を設定。	地域の方からゲストティーチャーを招き、地域の特色を学ぶ学習活動・協働作業の充実を図る。	地域の方々との学習活動・協働作業を年間 1 回以上			
		学校行事や地域イベント等への相互参加を通じ、地域理解や交流を深める。	地域イベント参加等の地域交流を年間 1 回以上			

学 校 関 係 者 評 価
実 施 日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等